

令和6年度
すくわくプログラム活動報告書
(実施対象：0～5歳児クラス)
第三暁愛児園



テーマ

自然「落ち葉」

設定理由

戸外遊びで楽しく取り入れてきた葉っぱ。その葉っぱにも様々な異なる形や色、質感の葉があることを知り、自然に対する好奇心も育つと思ったから。

対象クラス

1歳児クラス・11名

活動の狙い

自然にたいする好奇心を育てる

キーワード

「どんな色？どんな感触？」

活動期間

令和 6 年 12 月 ～ 令和 7 年 3 月

活動回数

計4回

活動①

全身で触れる。感じる。

実施日

令和 6 年 1 月 23 日 (木)

活動の狙い

葉っぱの感触を全身で味わう

キーワード

「葉っぱのお布団」「いい音がするね！」

準備物

カメラ

活動内容

場所：多摩平の森

近隣の公園へ向かう。落ち葉がたくさん落ちている場所に行くと、子ども達は落ち葉を集めて上から降らせたり、葉の上を歩いたり、ダイブして寝転んで葉の音や感触を全身で味わう。
☆子ども同士で激しい接触がないよう保育者が配置に着く。

「カサカサッ」「フカフカ」



葉っぱの
おふとん～



せーの!!
葉っぱの雨～♪

まるで絨毯のように落ち葉が敷き詰められた多摩平の森公園で過ごしました。歩く際に鳴る「カサカサッ」の音に子どもたちは気が付きました。次にダイブをしたらどのような感触なのか気になり実践した結果「気持ちいい」と発見。新たな遊びをどんどん考え、思い思いに落ち葉と触れ合いました。今後もふれあいを見守っていきたいと思います。

活動②

きれいな葉っぱってどんな色？

実施日

令和 6 年 12 月 20 日 (金)

活動の狙い

腕や指を使って木や葉を表現する

キーワード

「きれいだね」「くすぐったいね」

準備物

絵の具・画用紙・敷物・筆・パレット
プロジェクター・スクリーン・書画カメラ
図鑑・雑巾・ベンチ

活動内容

室内で図鑑やプロジェクターを見る。同じ種類の葉でも、緑だけではなく黄色や赤色があることに気づく。画用紙に絵の具で自分の腕を幹に見立て、指で思い思いの色の葉をつけていく。

あかきいろ！
くすぐったいね！

みえた！！
おおきいね



くすぐったいね



思い思いの色を使って描いたよ！

活動③ part1

木を切るとどうなるの？あっ！葉っぱGet

実施日

令和 6 年 2 月 21 日 (金)

活動の狙い

お気に入りの葉っぱを見つけ見せ合う

キーワード

「おおきいはっぱ」「たくさんあるね～」

準備物

大きいビニール袋

活動内容

場所：遊歩道・第一公園

葉っぱがある遊歩道に向かう。途中、大きな木の切り株に触れ親しみをもち、探索をしながら雑木林のある第一公園へ移動する。お気に入りの葉っぱを探し、見つけるたびに発見を喜び共有する。

「つくえみたいだね」
「みつけたよ」



お散歩中に見つけた、大きな切り株を目にして全員で触れた。「つくえみたいだね～」と発見を言葉に皆で盛り上がっていた。途中に見つけた球根!「せんせいあったよ」の一言に子どもたちが集まり観察を行っていた。探索を楽しんだ後、お気に入りの葉っぱを見つける度、ビニール袋に入れていった。子どもたちが見つけてきてくれる葉はいろいろな質感で面白いものばかりであった。

活動④ part2

くらべてみよう 集めて何ができるかな！？

実施日

令和 6 年 3 月 10 日 (月)

活動の狙い

集めた葉っぱを観察・製作する

キーワード

「チクチクするね」「ふくろうさん」

準備物

ペン・両面テープ・ビニール袋・画用紙
集めてきた葉

活動内容

part2で集めてきた杉の葉やイチョウ、ヒイラギなどを観察する。実際に触れ感じたことを言葉に出し伝える。袋に葉を詰め、毛糸や画用紙を貼り付け“ふくろう”を製作し、自然物を使った製作に親しみを持つ。

「チクチク！！トゲトゲ！！」
「ふくろうさん♪」

持ち帰った葉を観察すると子どもたちはたくさんの発見があった。思い思いに異なる形や色、質感の葉に触れ楽しんだ。



自分たちで見つけたお気に入りを入りを袋に詰め、「ふくろう」を完成させた。自然のものに触れ、好奇心も育ち、自然への興味関心が深まった。

使用物

PC・スクリーン・プロジェクター・デジタルカメラ・USB・図鑑・絵具・筆・パレット
顕微鏡・書画カメラ・ベンチ

テーマ： 自然「落ち葉」

全体の振り返り

全4回のプロジェクト活動を通して、子どもたちが自ら落ち葉に興味を持ち不思議に思ったことや喜ばしい発見を積極的に保育者や友だちに共有する姿も見られるようになった。そのような姿に、保育者が共感することの大切さを学んだ。発見を共有し、どんなことに興味関心を持ち、どんな素材と出会うかで表現も豊かになるのだと思った。子どもたちの興味や関心を把握し、学びの空間を構築できるよう職員同士で話し合う中でアイデアを出し合い、さまざまな視点を学び合うことの楽しさも感じた。五感を使うため、感覚の発達に繋がり、異なる形や色、質感の異なる葉に触れることで、自然に対する好奇心も育つ自然遊びの中での成長を大切にしていきたい。そして、子どもたちの探求は常に続いていくと感じた。